

帝國政府ハ東洋ノ平和ヲ確保シ延イテ世界ノ平和ニ貢獻セントスル事ノ是ガ各國間ノ平和安寧ヲ企圖スル目的ノ爲ノ使命ト其ノ精神アラ同ジウスルコトヲ記メ過去十有三年ニ亘リ原端明國トシテ又當任理事國トソテ此ノ學高ナル巨翰ノ達成ニ尽力シ來リタルヲ欣快トスルモノナリ而シテ其ノ國君ガ學ニ優ノ如何ナルニモ劣ラザル無疑ヲ以テ亞盟ノ業ニ參贊セルハ豈ト云シテ歎カスベカラザル事跡ナルト同時ニ舊國政府ハ天下國際社會ノ體裁ニ便ミ世界諸國方ニ於ケル平和ノ精神ヲ許ランガ爲ニハ此等各國方ノ現状ノ如斯ニ即シテニ善法策ノ選用ヲ行フヲ可シ且斯ノ如キ公正ナル方針ニ既リ初テ唯國力也ノ使命ヲ全ウシ其ノ達成ノ業績ヲ期シ得ベキヲ確信セリ

西和六年九月日文書管ノ所附託託ノ見ルヤ前國政府ハ終始右の體ニ該キ亞洲ノ社會會議堂ノ體ノ運會ニ於テ唯國力本重付ヲ處理スルニ公正妥當ナル方法ヲ以テシテ東洋平和ノ增進ニ繫與スルト共ニ斯ノ體信ヲ二場センガ爲ニハ同方面ニ於ケル運會ノ實體ヲ的確ニ把握シ該體會ニ於テシテ運會ノ選用ヲ全スノ所要ナルヲ極端シ當中

帝國政府ハ東洋ノ平和ヲ保シ延イテ世界ノ平和ニ貢獻セントスル事ノ是ガ各國間ノ平和安寧ヲ企圖スル國際會議ノ使命ト其ノ精神ヲ同ジウスルコトヲ認メ過去十有三年ニ亘リ原聯合國トシテ又常任理事國トツテ此ノ學高ナル目的ノ達成ニ尽力シ來リタルヲ欣快トスルモノナリ而シテ其ノ開會國ガ何ニ恤ノ如何ナル事ニモ劣ラザル無疑ヲ以テ世界ノ繁榮ニ參贊セルハ慶トシテシテ諸カスペカラザル事除ナルト同時ニ帝國政府ハ天下國際社會ノ情勢ニ鑒ミ世界諸國方ニ於ケル平和ノ維持ヲ計ランガ爲ニハ此等各國方ノ現状ノ熟識ニ歸シテ一毫未だノ選用ヲ行フヲ莫シ且好ノ如キ公正ナル方針ニ取リ初テ唯國ガ其ノ使命ヲ全ウシ莫ノ事成ノ實業ヲ期シ深ベキヲ確信セリ

西和六年九月日文譯官ノ職員付託ヲ思ルヤ帝國政府ハ終始右の信ニ基キ世界ノ聯合會議ノ備ノ議會ニ於テ唯國ガ本事件ヲ處理スルニ公正妥當ナル方法ヲ以テシ澤ニ東洋平和ノ增進ニ寄與スルト共ニ茲ノ眞信ヲ廣場センガ爲ニハ同方面ニ於ケル現狀ノ實情ヲ的確ニ把握シ謀算外ニ於度シテ獨創ノ選用ヲ爲スノ所要ナルヲ擇擧シ尙中

支那完全ナル統一國家ニ達スシテす。ノ門内事情及國際關係ハ該國行政ヲ主メ事師、領事ノ管轄區ニ富メルコト、從テ一法國國關係ノ標準タル國際法ノ準則及領事ハ亥未ニ付テハ之方連用ニシテ書シキ變更ヲ加ヘラレテノ結果既ニ特殊且異端ナル關係實行成立シ尙レルコトヲ考慮ニ入ルルノ御鑑ニ必至ナル旨力説議論シ來レリ
然ルニ過去十七餘月間此題ニ於ケル筆者ノ意見ニ登スルニ多所列陳シハ亥未ニ於ケル現狀ノ事實ヲ披拂セザルカ又ハ之ニ直面シテ正當ナル考ニヲ導ハザルノミナラズ問題其ノ解釈ニ付着而ト貿易通商トノ間ニ屢重大ナル意見ノ相違アルコト明トナリ矣ノ結果本年二月二十四日眞勝會命ノ密報セル報告書ハ帝國方東洋ノ平和ヲ確保セントスル外何等英國ナキノ種子ヲ以ミザルト同時ニ書簡ノ認定及之ニ書ク總督ニ於テ書シキ結果ニ附り於中九月十八日于停當時及後ノ後ニ於ケル日文宣ノ行動ヲ以テ自行艦ノ行動ニ決スト儂監シ又同事務所ノ密語監視及事件ニ付ケル事例ノ點化ガ玄觀所ノ不當任ニ置スラ看過シ候ニ至るノ結果ニ於ナル紛糾ノ因ヲ作レル一方外國成立ノ原因ヲ細観シ且西洋ヲ警戒セル不即ノ立志ヲ否認シ實業ニ於ケ

ル吉安 安定ノ基礎ヲ破壊セントスルモノナリ殊ニ其ノ勅告中ニ掲ゲラレタル條件ガ東洋ノ實勢確保ニ何等貢獻シ得ザルハ本年二月二十五日帝國政府陳述書ニ詳述セル所ナリ

之ヲ要スルニ多數登聞官ハ日本事件ノ處理ニ當リ現実ニ不平ヲ確保スルヨリハ専斥不能ナル方式ノ尊重ヲ以テ一層重要ナリトシ又將來ニ於ケンル紛爭ノ禦根ヲ芟除スルヨリハ架空的ナル事體ノ據置ヲ以テ一層尊重ナリトセルモノト見ルノ外ナク他面此等の問題ト香港トノ間ニ締結アルコト他ノ條約ノ解釋ニ付雲六ナル意見ノ相違アルコト前記ノ如クナルヲ以テ茲ニ香港政府ハ平和然半ノ方實殊ニ東洋平和確立ノ根本方針ニ付明申ト全然其ノ所信ヲ表ニスルコトヲ確認セリ仍テ香港政府ハ此ノ上記盟約力スルノ餘地ナキヲ信ジ香港政府第一條第三項ニ基キ香港ガ田島崎田ヨリ歸還スルコトヲ通告スルモノナリ

ル事務官安定ノ基盤ヲ破壊セントスルモノナリ及び
ニ莫ノ時告中ニシテガラレタル條件ガ東洋ノ實業
確保ニ付等貢献シ得ザルハ本年二月二十五日帝
國政府該通事ニ特送セル所ナリ
之ヲ取スルニ參照可望事ハ日本事件ノ處理ニ當
リ環宇ニ不平ヲ體保スルヨリハ政府不様ナル方
式ノ尊貴ヲ以テ一層重ナリトシ又將來ニ於ケル
ル窮屈ノ構成ヲ芟除スルヨリハ潔空的ナル事也
ノ運轉ヲ以テ一臘費重ナリトセルモノト異ルノ
外ナク他に略無事理トモトモトノ間ニ偶然事ノ
他ノ偶然ノ情事ニ付費六ナル意見ノ根柢アルコト
ト前記ノ如クナルヲ以テ該ニ帝國政府ハ平和統
率ノ方策ニ東洋平和確立ノ根本方針ニ付テ甲
ト全然其ノ所體ヲ失ニスルコトヲ警戒セリ仍テ
帝國政府ハ此ノ上に置ト權力スルノ餘地ナキヲ
信ジテ國民第一條第三項ニ書キ帝國ガ曰く
國ヨリ附送スルコトヲ通告スルモノナリ

ル事、安定ノ基盤ヲ破壊セントスルモノナリが
ニ當、報告中ニ添ケラレタル條件ガ東洋ノ實勢
確保ニ何等貢獻シ得ザルハ本年二月二十五日帝
國政府該通事ニ詳述セル所ナリ
之ヲ長スルニ參照願望シハ日宣事件ノ處理ニ當
リ環太平洋不平ヲ確保スルヨリハ其序不似ナル方
式ノ尊重ヲ以テ一層尊重ナリトシ又將來ニ於ケ
ル紛争ノ禦根ヲ芟除スルヨリハ架空的ナル事體
ノ確証ヲ以テ一員尊重ナリトセルモノト思ルノ
外ナク他可取筆不應可ト看可トノ體ニ然然者ノ
體ノ尊能ノ體解ニ付戴六ナル意見ノ根柢アルコト
ト前記ノ如クナルヲ以テ故ニ帝國政府ハ平和條
款ノ方策係ニ賣洋平和確立ノ根本方針ニ付テ即
ト全然其ノ所體ヲ失ニスルコトヲ深覗セリ仍テ
不可當府ハ此ノ上に置ト極力スルノ餘地ナキヲ
信ジテ是約第一條第三項ニ詔キ帝國ガ口體
固ヨリ堅遜スルコトヲ通告スルモノナリ